

「肺非結核性抗酸菌症の臨床データベース研究」

臨床研究へのご協力をお願い

近年、結核菌によく似た非結核性抗酸菌による肺感染症が世界的に増えています。とくに日本では急増しており、2014年の全国的な疫学調査では罹患率が年間10万人に対して14.7人と菌陽性肺結核を上回る結果でした。非結核性抗酸菌には多くの菌の種類があり、どの菌がどのように病気をおこすのか、どのような治療が望ましいのか、経過がよい人と悪い人の違いが何なのか、などまだ十分にわかっていないことがたくさんあります。特に稀な菌種による肺非結核性抗酸菌症は世界的にみてもまとまった報告が少ないのが現状です。そこで当院では共同研究施設（結核予防会複十字病院、慶応義塾大学病院、国立国際医療研究センター病院）とともに、肺非結核性抗酸菌症の患者さんの過去の診療記録から調査を行うことにしました。この調査により菌の種類ごとに頻度、臨床像、治療法や治療効果について検討し、この疾患の病態の解明に役立てることが目的です。

当院で肺非結核性抗酸菌症と診断された患者さんの診療録に記載されている病状、検査結果、治療経過の情報を菌種ごとにまとめ、その特徴を検討します。培養された非結核性抗酸菌が保存されている場合には菌の遺伝子など詳しい解析を加える場合もあります。患者さん個々の情報は匿名化された状態で取り扱われます。専門の学会や学術情報誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際に患者さんの個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

ご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望される場合は下記の連絡先までご連絡ください。患者さんに関する研究データを削除します。データ利用を拒まれることで患者さんに不利益は生じません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されている場合には、その結果を訂正できませんのでご了承下さい。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧されたい場合、またこの研究に関して質問、相談されたい方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒465-8620 愛知県名古屋市長区梅森坂 5-101

国立病院機構東名古屋病院 呼吸器内科

研究責任者 中川 拓

電話番号 052-801-1151（代表）